

国民の歯磨剤への期待と臨床での認識

「ルシェロ歯みがきペースト ホワイト」

患者さんの歯の悩みで常に上位にくるのが歯の色です。
ことにステインを気にされる患者さんは多く
美白系歯磨剤は一般市場でも数多く発売されています。
そのような国民的ニーズのなかで、歯にやさしく美白効果の高い
「ルシェロ歯みがきペースト ホワイト」が登場しました。
そこで、今回は国民の歯磨剤への期待と臨床での認識をテーマに
近藤隆一先生と宮崎真至先生をお招きしてさまざまなお話を伺いました。



• 司会

佐氏英介 先生

Eisuke SAUJI

1975年生まれ
サウジ歯科クリニック 院長

• ゲスト

近藤隆一 先生

Ryuichi KONDO

1948年生まれ
医療法人社団 デントゾーン
近藤歯科 院長

• ゲスト

宮崎真至 先生

Masashi MIYAZAKI

1960年生まれ
日本大学歯学部附属歯科病院 病院長
歯科保存学第1講座教授

• ジーシー

佐久間徹郎

Tetsuro SAKUMA

1957年生まれ
株式会社ジーシー 常務取締役

年次別歯磨出荷実績推移

Q お口のごことで満足していないことは？

1位は歯の色・2位は口のおいしさ
3位は歯並び

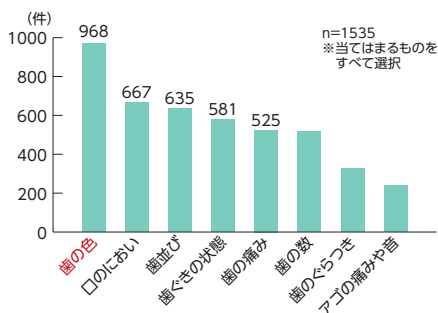
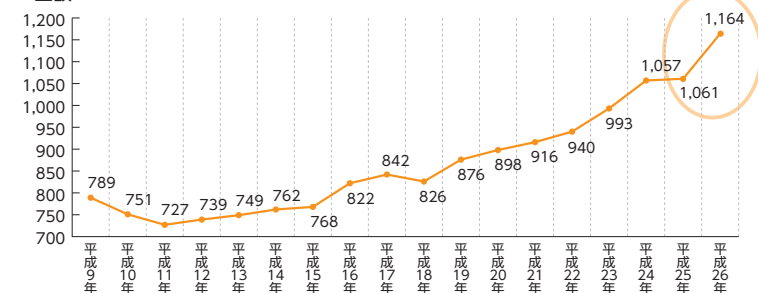


図1 2004年にジーシーが実施した調査では、「お口のごことで満足していないこと」の第一位は「歯の色」。

1. 金額 (単位:億円)



2. 中味総量 (単位:トン)

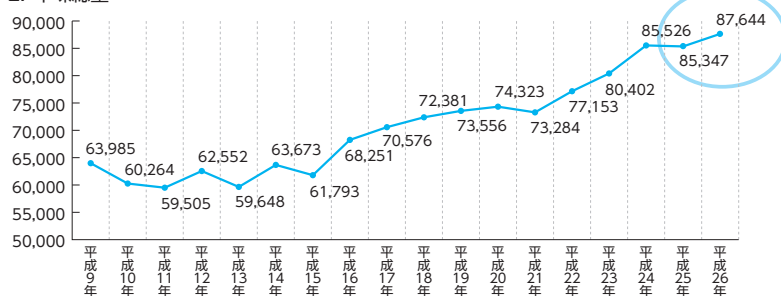


図2 歯磨剤の売上金額は年々上昇し平成26年には1,164億円に達している。平成25年と26年での「中味総量」と「金額」を比較すると、金額に大きな伸びがみられる。付加価値を付けられた高額な歯磨剤が売れていることを表わしている。

(出典:日本歯磨工業会 資料より)

歯科医療従事者の 歯磨剤に対する認識

佐氏 以前、ジーシーが行った「国民の歯科意識調査」で、お口の健康に対する意識や要望を調査したところ、満足していないことの第1位は「歯の色」でした(図1)。また、翌年の第2回調査で審美歯科について伺うと、歯の色で悩んでいる人は28.6%、歯を白くしたい人は41.6%で、歯の色で悩んでいる人の84.4%が白くする治療を受けたいと答えています。最近では審美歯科やホワイトニングも認知され、国民の白い歯への欲求は高く、セルフケア製品でも美白系の歯磨剤が数多く販売されています。

そのような国民ニーズのなかで、このたび「ルシエロ歯ブラシ10周年」企画のひとつとして「ルシエロ歯みがきペースト ホワイト」(以下「ルシエロ ホワイト」)が誕生しました。そこで今回は、歯面の着色とセルフケアの歯磨剤にスポットを当て、座談を進めたいと思います。

ゲストは臨床家として審美歯科、ホワイトニングをリードされてきた近藤隆一先生と審美歯科の第一人者で日本大

学歯学部付属歯科病院の病院長でもある宮崎真至教授です。

まず初めに、臨床家が歯磨剤に抱いている印象について話を進めていきたいと思えます。あまり歯磨剤に興味を持たれていない臨床家も多いのではないのでしょうか。というのは、私自身も歯磨剤の効果に対して半信半疑に思っています。

宮崎 そうですね。臨床現場では歯磨きに歯磨剤はいらぬとか少量でいいなどという声を耳にすることがあります。

ところが、神奈川歯科大学口腔科学講座の荒川浩久教授が2000年に発表された論文^{※1}では、プラークコントロールで歯磨剤は重要であると評価しているのですが、「わが国では、歯ブラシによる機械的清掃効果が強調され、歯磨剤を用いる科学的な価値はそれほど評価されてこなかった」と書かれています。まさに、これが現状です。せつかく効果の高い歯磨剤があっても、それ以前に歯磨剤に対する認識があまりにも低いのです。先生方はいかがですか。

近藤 私も個人的には歯みがきは歯ブラシだけで、もし歯磨剤を使うなら歯ブラシの先に少量だけ、その代わり歯ブラシは

頻りに交換するように指導していました。

佐氏 そうですね。私も歯磨剤に対する認識はそのようなものでした。

宮崎 おそらく、多くの臨床家の方々もそうだと思います。

歯磨剤の国内市場はずっと右肩上がりであり、平成26年で1,164億円です。平成25年と26年を比較すると約100億円上昇しています(図2)。しかし、出荷数(中味総量)ではあまり変わっていない。その理由は、国民が歯磨剤に対してう蝕や歯周病予防、さらには美白効果や知覚過敏などの付加価値を期待し、高額な製品が売れているのではないかと予測できます。

また、う蝕だけを考えても、歯磨剤に配合されたフッ化物は、う蝕予防に有効だと多くの論文でも認められています。歯磨剤が売れるほどDMFTも下がっています(図3)。しかし、これも歯科医師や歯科衛生士があまり認識されていないのが現状です。歯磨剤に配合されたフッ化物が、日本のDMFTを下げるのに有効に働いているにも関わらず歯磨剤に対する認識が低いのです。ですから、その効果をしっかり認識して

※1) 口腔衛生学会誌, 50:361-374, 2000.

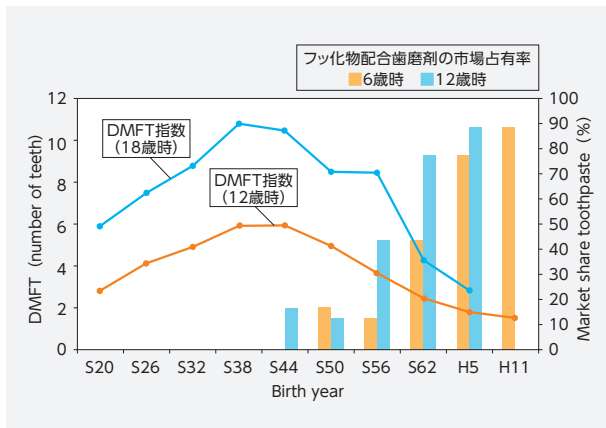


図3 年々、国民のDMFTは減少し、歯磨剤の売り上げは上昇している。歯磨剤の普及がDMFTを下げていることを裏づける。
(各出生年コホートにおける12歳時と18歳時のDMFT指数と、6歳時と12歳時におけるフッ化物配合歯磨剤の市場占有率。 出典：歯科医学 2014;77 (2):66-75)

4つの力で歯を白く



弱アルカリ性
汚れを落としやすくする

弱アルカリ性で汚れを落としやすくする
「ルシェロ歯みがきペースト ホワイト」は、弱アルカリ性。歯質の表面に付着したステインを落としやすくする。

Lime 粒子®
歯質にやさしい

歯質にやさしいLime 粒子®で汚れを落とす
歯質より柔らかくキメ細やかなLime 粒子®(清掃剤)を配合。高濃度に配合したLime 粒子®とブラッシングで落としにくいステインを除去。

PEG400
薬用成分

PEG400で「やに」を落とす
薬用成分「ポリエチレングリコール (PEG) 400」が、タバコの「やに」を溶解除去。

フッ化物
薬用成分

フッ化物が再石灰化を促進
薬用成分「モノフルオロリン酸ナトリウム (フッ化物)」950ppmが歯質の再石灰化を促進し、う蝕の発生と進行を予防。

図4 「ルシェロ歯みがきペースト ホワイト」は4つの力で歯を白くする。

いただく必要があるのです。

1,000億円市場ということは、国民が歯磨剤に期待している表れです。『日経TRENDY』の歯磨き粉購入の調査でも上位にくるのは味や香り、ブランドではなく、歯周病予防、う蝕予防、口臭予防、そして美白効果ですので、私たちも歯磨剤に対する認識を改めていく時代だと思います。

今までの美白系の歯磨剤とは違うコンセプト

佐氏 確かに歯磨剤の効果について、私たちはあまり意識してこなかったと思



ゲスト・近藤隆一 先生

います。

ところで、近藤先生は審美歯科やホワイトニングに早くから取り組まれてきましたが、今回ジーシーから発売された美白系歯磨剤の「ルシェロ ホワイト」には、どのような印象を持たれましたか。
近藤 その前にまず私の診療についてのスタンスを申し上げたいと思います。それは、「常識を覆す」ということです。私が思う常識というのは、これまでの積み重ねの知識が少し違う方向に進み、皆が常識だと思っていることです。でも、「本当は違うでしょ」と指摘して診療の方向を戻したいというのが私のスタンスです。

例えば、日本でホワイトニングが導入された初期の頃は、歯は黄色いのが普通だと思われていましたから、白くする必要はないというのが常識でした。でも、私は違うだろうなと思い続けてやってきたら、患者さんの白い歯へのニーズは非常に高かった。つまり、私たちが常識だと思って患者さんに伝えていることと、患者さんたちが常識だと思っていることの乖離を少しでも埋めてあげることが、私が診療で大切にしていることです。

さて、「ルシェロ ホワイト」についてです

が、実は、私の歯磨剤に対する常識を覆したのがこの製品です。つまり、これを使うことで効率よく汚れが取れるのを実感したのです。先生方の中には、ただ同じような美白系の歯磨剤がジーシーから発売されただけだと思っている方も多と思います。でも、私が実際に使ってみて、この歯磨剤は今までの製品とはまったく違うと実感できましたし、この製品の持つエネルギーはとて大きいと感じました。
佐氏 実際に「ルシェロ ホワイト」は、これまでお使いになった先生や歯科衛生士さんたちにもたいへん好評だとお聞きしています。私もスタッフも実際に



ゲスト・宮崎真至 先生

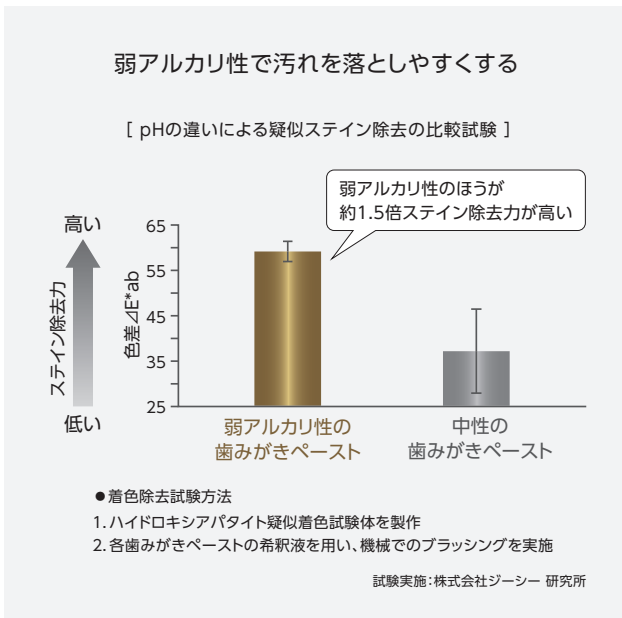


図5 ペーストの弱アルカリ性(約pH9.5)が、汚れを落としやすくする。中性の一般的なペーストよりもステイン除去力が高い。

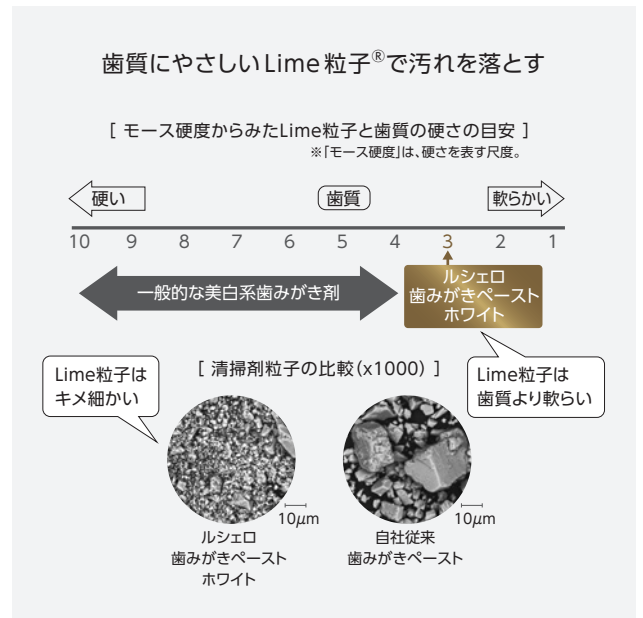


図6 炭酸カルシウムの「Lime粒子」は歯質よりも軟らかいので歯面にやさしい。また、粒子を非常にキメ細かくし緻密に配合することで清掃性も高い。

使ってみて良さを感じています。そこで、この製品についてジーシーの佐久間さんから説明していただけますか。

佐久間 「ルシェロ ホワイト」は、ステインやタバコのヤニが沈着している方で輝く白い歯で笑顔に自信を持ちたい方はもちろんのこと、ホワイトニングやプロフェッショナルケア、歯の白さを持続させたいという患者さんにお勧めできる歯磨剤として開発しました。

大きな特長は3つです(図4)。1つ目は、弱アルカリ性(約pH9.5)のペーストで、ステイン中のタンパク質を加水分解しステインを落としやすくします(図5)。そして2つ目は、Lime粒子という炭酸カルシウムの細かな粒子で、落としやすくなったステインをやさしくブ

ラッシングして着色を落とします(図6)。3つ目は、有効成分のポリエチレングリコール400がタバコのヤニを溶解除去し、フッ化物(950ppm)のモノフルオロリン酸ナトリウムがう蝕の発生と進行を予防できるということです。

弱アルカリ性でステインが付着するペリクルの足場を緩くする

佐氏 美白系とかステイン除去能があると聞くと、粒子が硬く歯面が傷つくのではないかと心配される先生方も多いのではないかと思います。

佐久間 確かにステイン除去力と歯面へのやさしさは、これまで相反するものでしたが、「ルシェロ ホワイト」で採用している清掃剤のLime粒子は、モース硬度でみると歯質より軟らかいので、歯面を傷つけにくくなっています。しかも、非常に微細な粒子を大量にバランス良く配合していますので、着色除去能が高く、歯面への侵襲性は低くなっています。

佐氏 歯面にやさしく着色除去能力が高いことは分かりました。着色のメカニズム、着色除去のメカニズムについてもっと理解を深めたいと思うのですが。

宮崎 着色物質が歯面に引き付けられる力は、静電気力やファンデルワールス力などさまざまな力があります。そのときに、

着色物質が外因性のものか内因性のものか分けて考えるということで、The Nathoo classification of extrinsic dental stain^{※2}では、外因性による歯面への着色をN1タイプ、N2タイプ、N3タイプの3つに分けています。N1は有色物質が歯に付着するもので、主に食物由来の色素です。N2は付着した有色物質が変色するもの。N3は付着した物が化学変化で色が変わるというもので、リンゴの皮を剥いて置いておくと色が変わるようなメイラード反応などです。

ステイン付着の機序について、何もないきれいなエナメル質の歯面には色素は付着しません(図7)。しかし、歯面がどんなにきれいな状態でも唾液中の高プロリン糖タンパク質はカルシウム結



司会・佐氏英介 先生



ジーシー・佐久間徹郎

※2) J Am Dent Assoc. 1997;128 Suppl:6S-10S.



外因性の着色の分類*

| | |
|-------|-----------------------|
| N1タイプ | ●有色物質が歯に付着 |
| N2タイプ | ●付着した有色物質が変色 |
| N3タイプ | ●無色物質の化学変化による発色 |
| | ●メイラード反応の関与(クロルヘキシジン) |
| | ●フッ化スズと-SH基とのレドックス反応 |

*) J Am Dent Assoc. 1997;128 Suppl:65-105.

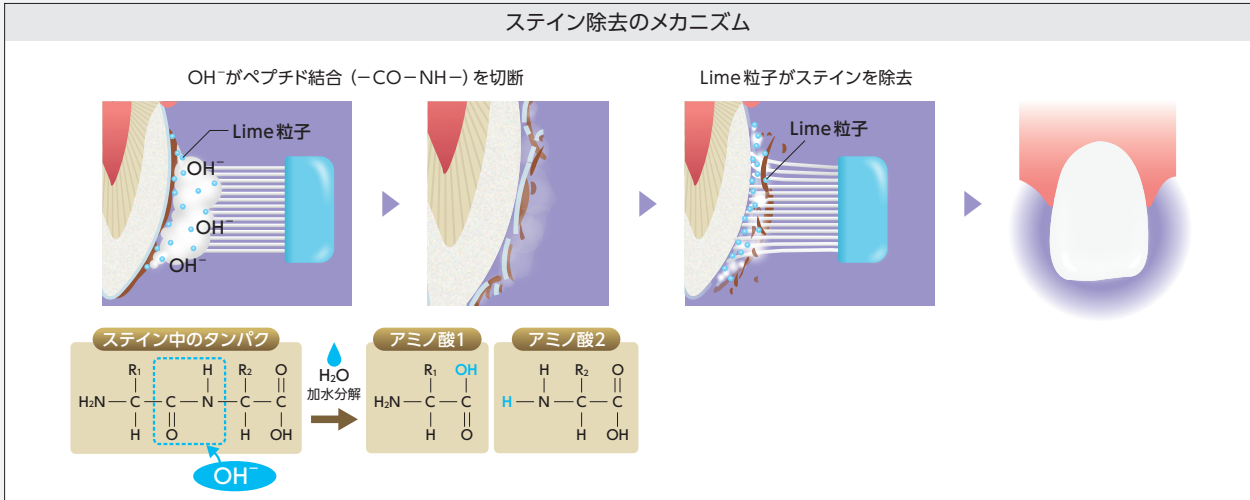


図7 ステイン形成と除去のメカニズム。ステインはペリクルを介して付着する。「ルシェロ歯みがきペースト ホワイト」は歯に着色したペリクルの足場を弱アルカリ性で緩くすることで着色物質を落とす。

合能が高いため、1~3分で歯面に有機薄膜のペリクルを形成します。ペリクル表面はマイナスイオンなので、お茶のカテキンなど飲食物由来の有色物を吸着します。その他、静電気力や疎水相互作用などで細菌も付着し、細菌の周りで有色物が産生されることもあります。また、金属イオンはプラスイオンなので吸着します。つまり、すべてペリクルを介在にしてその上に物質が付くことで着色・ステインが現れるのです。

したがって、「ルシェロ ホワイト」が弱アルカリ性としているのは、色素の付着したペリクルをターゲットにしているからで、ステイン中のタンパク質を加水分解する。つまり、ステインの足場を弱アルカリ性で緩くして、それをLime粒子とブラッシングで除去していくという考え

方なのです(図7)。

歯面にやさしい Lime粒子®を高密度に配合

近藤 炭酸カルシウムであるLime粒子は弱アルカリ性ですが、それ自体が汚れを吸着する性質もあります。また、炭酸カルシウムは地球表面を覆う成分の一部で、それが溶けて海水を弱アルカリ性になっています。自然の物質でもあるので、とてもいいところに着目したなと思いました。

それから、私が最初にインパクトを受けたのは製品を手を持ったときの重さです。見ためのイメージより実際に手にしたときの重さに、「どうしてこんなに重いのだろう」と驚きました。おそらく、それは微細な粒子が緻密に配合されてい

るために、他の歯磨剤よりとても重くなっているのだと思っています。

宮崎 確かにそうです。私たちが電子顕微鏡でPMTCや歯磨剤のペーストと比較したところ、「ルシェロ ホワイト」のLime粒子は非常に細かい粒子が大量に入っています(図8)。ここで注目すべきは、粒子が細かいほど通常は凝集してくるのですが、Lime粒子は極めて細か

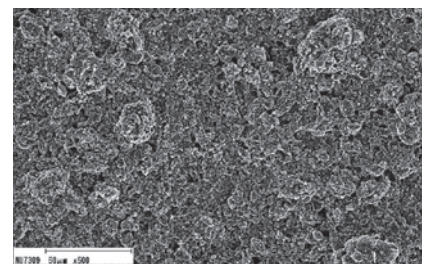


図8 「ルシェロ歯みがきペースト ホワイト」では、微細なLime粒子を高密度かつ均一に配合させることに成功した。



Baseline／30代後半 男性 喫煙者、オーラルケアの必要性を全く感じていない対象者。歯冠・歯頸部に顕著なプラークが観察され、さらに喫煙によるヤニ、そして歯肉炎まで。正直なコメントとして「素手では触りたくない患者」。



One week／ルシエロペースト ホワイトの使用でごくわずかな改善がみられるものの、ブラシが必要な個所に到達していないことは明白。「良い結果が得られないかもしれない?」。



Two weeks／平面だけに限定されるものの、大幅といえる清掃効果が現れており、下顎歯間部は歯石の付着、上顎正中部の充填物と判定可能な域まで到達した。「しかし、まだという不安がよぎる」。



Three weeks／満を持して、前回の写真撮影後にシンプルにスクリーニングを実施した。ペースラインで観察された様々な汚さは消失しつつある。「本人も変化を認識してきたようだ」。



Four weeks／結末。1か月間ルシエロペースト ホワイトを使用し続けたことにより、清潔感を有する状況が生まれた。「オーラルケアへのアプローチは様々な存在するが、歯磨剤という入り口を採用しても、改善できる」。

図9 「ルシエロペースト ホワイト」が変えた、オーラルケアに対する取り組み方。(近藤隆一)

な粒子を高密度に配合しているにもかかわらず凝集していません。これは、コンポジットレジンフィラー技術と同じで、細かな粒子を均等に入れるのは非常に難しいことなのです。

歯磨剤は歯面の汚れを落とす能力が求められるのですが、歯面を傷つけないことが重要です。その点でもLime粒子は歯質よりも軟らかいので安心です。歯がツルツルするという意見もありますが、それは歯を傷つけていないことの証明だと思います。そういう意味で、従来製品とは一線を画する歯磨剤です。

近藤 食器用の中性洗剤のCMで「キュッキュッと音がする」とメッセージしているものがありますが、「ルシエロ ホワイト」を使うと本当に歯が「キュッキュッと音がするようになります。私はそうでした。

宮崎 歯磨剤は毎日使うものです。それで、徐々に汚れが除去されることを実感されると、また使いたいということになる。さらに、フッ化物も配合されているのでプラークインデックスもジンジバルインデックスも良くなるので、製品の化学的背景をしっかり知っていただく必要があると思います。

佐氏 弱アルカリ性の歯磨剤というの

は他にもあるのですか。

佐久間 いくつかあると思いますが、多くが中性です。

宮崎 歯磨剤ではないのですが、弱アルカリでペリクルを除去することで再石灰化を促進させようという研究があるので有意義なことであると考えています。

Lime 粒子[®]が ブラッシング中の歯面に 留めさせるコンセプト

佐氏 「ルシエロ ホワイト」は発泡剤が入っていないし、香味も抑えているので、最初は物足りないという印象を受けました。あえて発泡剤や香味を抑えているのですか。

佐久間 そうです。泡立つことでLime粒子が浮かされて、歯面との接触面積が少なくなること、また泡立つことで口をすすぎたくなくなり効果が薄れてしまうことを避けるため発泡剤を配合しませんでした。香味についても、できるだけ長時間磨いていただけるよう、抑えています。

宮崎 その点では物足りない感じもありますが、製品のコンセプト、作用機序、そして使い方もこれまでの歯磨剤とは違う製品なのだと思います。

佐氏 具体的に使い方を教えていただ

けますか。

佐久間 効果的な使い方は、ペーストは多めの量(約1g)を歯ブラシにのせて、まず着色の気になる部位を30秒ほどかけて磨いていただき、あとは通常のブラッシングを行っていただきます。口腔内にいきわたらせるために多めの量を勧めています。

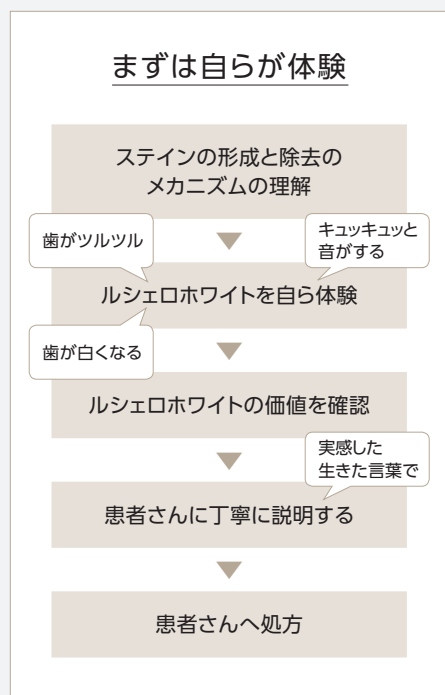
また、Lime粒子を高密度に配合しているので、チューブから出すときに多少重く感じるとは思いますが、それはブラシへの保持力と着色除去性を考慮した設計だからです。

佐氏 歯ブラシはどのようなものがいいのですか。

佐久間 ステイン除去が目的なので、テーパー毛よりもラウンド毛の歯ブラシを勧めています。理由は毛先がしっかりと歯面に当たることで汚れを落とすからです。

宮崎 「ルシエロ ホワイト」はLime粒子の保持力がポイントだと思います。歯面にしっかりと粒子を当てるためにはどのような植毛のブラシがいいのか、歯磨剤の保持力と磨く効果を考慮して専用の歯ブラシの研究もぜひお願いします。

佐久間 確かにそうですね。ありがとうございます。



美白ポイント 1

このような方にお勧め!

- お茶やコーヒー、ワインなどが好みでステインが沈着している方に
- タバコの「やに」が沈着している方に
⇒輝く白い歯で笑顔に自信を持ちたい方に
- ホワイトニング術前～術中～術後の方に
- 白さを持続させたい方に
(ホワイトニング後、プロフェッショナルケア後の方)
- 花粉症などで口呼吸の方に
⇒歯の切端部3分の1程度にステインが多く見られる方に

美白ポイント 2

歯ブラシは?



図10

患者さんに紹介するためにも
自ら体験し実感する

近藤 私は「ルシエロ ホワイト」を使うことで、ホワイトニング治療のスピードアップも可能ではないかと考えています。

宮崎先生も語られたように着色物質は、内因性と外因性のステインに分かれます。ホワイトニングは内因性の着色物質を除去するために過酸化水素や過酸化尿素で化学的に色素を分解させて取り除きます。特にホームホワイトニングでは、弱い薬剤を長時間作用させてホワイトニング効果を引き出すのですが、そのときに歯面に汚れがあると薬剤が浪費されてしまうので、事前に除去しておけばダイレクトに歯質に薬剤が届き、スピードアップにもなるのではないかと考えます。

宮崎 確かにそう思います。外因性のステインを除去しておけばホワイトニング治療の効率は良くなるでしょうね。

佐氏 そうすると、ホワイトニングの術前から術中、術後も継続して使うほうが効果的だということですね。

近藤 「ルシエロ ホワイト」は本当に効果のある歯磨剤だと実感しています。

佐氏 冒頭に申し上げた歯磨剤の購入動機について、「美白効果」のニーズは4人に1人。また、製品の良さも理解できました。今度はそれをどのように患者さんにインフォメーションしたらいいのか、この辺の戸惑いが多い現場ではあると思うのですが。

近藤 私もそうですが、歯科医師は診療が本筋で物を売るのは自分の仕事ではない、と思っている先生方も多いと思います。とくに「ルシエロ ホワイト」のように希望患者価格1,940円(税込)という価格は、製品の価値を実感していない先生には勧めにくい。だから、ご自身でお試しいただき価格以上の製品価値があることを認識して患者さんにお勧めいただければと思います。

宮崎 ジーシーの調査によれば、患者満足度に影響を及ぼす因子として、「患者さんへのていねいな説明」が挙げられていました。患者さんにはきちんと説明できることが大切です。この製品の処方について、患者さんの口腔内の状態や生

活習慣を考慮して、着色しやすい人・そうではない人を判別できるのは歯科医師・歯科衛生士です。ですから、「歯を白くしたい、でもなかなか汚れが取れない」と思っている多くの患者さんにこの歯磨剤を紹介し、「これは汚れ成分を浮かして取れやすくする歯磨剤です。しかし、すべての方にすぐに効果があらわれるわけではありませんが、継続して使うときれいになります」と丁寧に説明することが大切です。それとともに、「定期的に口腔内もチェックしていきましょう」と、トータルに患者さんをサポートする。こういった姿勢で歯磨剤を勧めることで、患者さんも納得され、患者さんの満足度の向上につながります。

ただ、半信半疑ではダメです。着色の機序やこの製品のコンセプトをしっかり認識し、ご自分でも体験する。そうすることで、患者さんに親身に対応できます。

近藤 私もそう思います。ある患者さんからは「一度の使用で歯の色は明るくなり、毎日使用していたらツルツル感も増し、楽しく歯みがきができました。これからも使い続けて、健康的な歯と歯肉を手に入れたいと思います」というコ

美白ポイント 3

ペーストはたっぷりの量で! (約1g)



※前歯部を30秒間ブラッシングした後の歯みがきペーストの残量比較

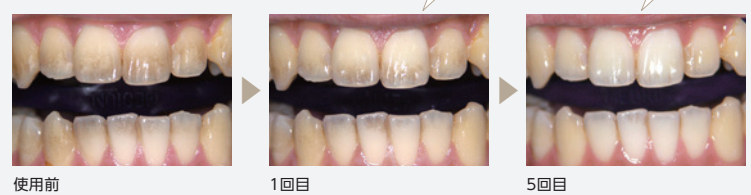
美白ポイント 4

着色が気になるところや効果が実感しやすい前歯部から磨く!



美白ポイント 5

使用頻度は毎回



メントをいただきました。歯磨剤で患者さんの意識が変わり、満足度にもつながったのです(図9)。

歯磨剤の有効成分、 効果を理解して患者さんに 処方する

佐氏 先生方は「ルシェロ ホワイト」を毎日のブラッシングで使うのか、特別なものとして使用するのか、いかがですか。
近藤 佐氏先生は本日の話を聞いてどのように思われますか。

佐氏 私なら「毎回使ってください」と伝えます。

近藤 私もそう思います。過去の常識に当てはめると1日1回とか2日に1回とか思ってしまうのですが、私も毎回使いたい歯磨剤です。

宮崎 「ルシェロ ホワイト」は美白効果以外にも、う蝕抑制効果も期待できます。また、950ppmのフッ化物や高密度のLime粒子が配合されていることで、知覚過敏抑制など臨床的な効果も期待できる可能性がありますので、今後の研究課題として実証できればと考えています。美白以外の効果を引き出

すためにも、日常のブラッシングの中で使用していただいて良いと思います。

佐氏 どのような部位が着色しやすいのですか。

宮崎 ペリクルの上に付いた有色沈着物が一番多いのは自浄域です。唇側面の歯冠中央から切端までは着色が多いですね。特にお茶やコーヒーを多く飲む人はここにステインが多く見られます。

近藤 花粉症などで口呼吸の人は、前歯の切端部3分の1くらいにステインが多く見られます。そのような患者さんに「ルシェロ ホワイト」を1か月使ってもらったら着色がきれいに落ちました。

佐氏 さて、そろそろ最後になります。先生方から一言メッセージをお願いしますか。

宮崎 最初に申し上げたように、歯磨剤にはさまざまな効果があり、それによりDMFTが減少していることを歯科医師、歯科衛生士の皆さんはご理解いただきたい。つまり、歯磨剤に含まれる成分の有効性を理解して、自信を持って患者さんに勧めていくというのが医療人としての責務でもあると思います。また、処

方するからには患者さん個々の口腔内を認識して、患者さんの口腔内の状況に合わせて歯ブラシと歯磨剤の処方を心掛けるように努めるべきだと思います。

近藤 歯磨剤を一方向からだけ見ていると誤解される部分も出てくるので、視点を増やして評価していく姿勢が大事です。特に、歯磨剤は自分が患者になったつもりで使ってみる。実感したことを生きた言葉で患者さんに伝えることで説得力が生まれます。先生方、歯科衛生士さんたちはぜひ使ってみてください。本当に「ルシェロ ホワイト」は予想以上にハイレベルな歯磨剤です。最後に提案ですが、お試し価格の小さなチューブの製品をぜひ作っていただければと思います。少しでも継続して使えばその良さは伝わり、リピーターも増えると思います。

佐久間 ご提案ありがとうございます。ぜひ前向きに検討したいと思います。

佐氏 先生方のお話を伺って歯磨剤に対する意識、患者さんへの有意義な情報提供など、とても勉強になりました。本日はお忙しいなか、ありがとうございました。